



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさと可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail:tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

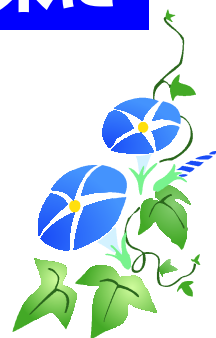
創立 明治5年
1872年

令和5年(2023年)6月30日

発行責任者 校長 山本英寿

1学期もあと3週間 充実感のある学期末に

天の川が美しい季節となりました。早いもので1学期もあと3週間となりました。この期間に学習や生活のまとめをしっかり行い、子供たちが充実感や達成感を持って1学期を終えられるように指導していきたくと考えています。また、授業参観、学級懇談会へのご出席、ありがとうございました。子供たちの1学期の成長を感じていただけたことと思います。夏休みに向けて、学校と家庭との連携をさらに大切にしていきたいと考えています。変わらぬご理解、ご協力をお願いします。



かけがえのない命を災害から守るために



【児童の引き渡しの様子】

6月1日(木)の児童引き渡し訓練にご協力をいただき、ありがとうございました。震度5弱の揺れの大きな地震の発生を想定した訓練でしたが、スムーズに行うことができました。

12年前の東日本大震災では、子供たちを含む多くの方々が犠牲となり、甚大な被害が発生しました。その後も、毎年のように大きな地震が全国各地で起こっています。ここ甲府市は、南海トラフ地震が起こると大きな影響を受けることが予想されています。玉諸小では、安全に避難できる実践的な態度や能力を養い、災害等が発生しても冷静にその場に応じた行動をとることができるよう、今年度は7回の避難訓練を計画しています。今回はそのうちの2回目の訓練でした。

災害は、いつどこで起こるか分かりません。大切な命を守るために、お子さんと危険な場所の確認をするとともに、登下校中や帰宅後に地震が発生した場合に具体的にどのように行動するのか、家以外に家族が集まる場合はどこにするのか決めておくなど、普段から備えておく必要があります。また、各ご家庭に4月に配付した「いざという時のために」(家庭掲示用)についても改めて確認をお願いします。子供たちのかけがえのない命を災害から守るため、ご理解、ご協力をよろしくをお願いします。

家庭学習へのご協力を

子供たちの学力向上のため、本校では校内研究、研修などを通して、教職員の指導力の向上を図り、授業の工夫、改善などを積極的に行っています。また、今年度も子供たちの自ら学ぶ力を育てるため、保護者の皆様の協力をいただきながら家庭での学習習慣を定着させる取り組みを進めていきたいと考えています。

各学年の「家庭学習の手引き」を活用し、発達段階に応じて、主に低学年では家庭学習の習慣づくりを中心に、さらに高学年では中学校への進学を意識した学習に取り組ませていきます。家庭と学校とが「家庭学習を大切にする」という同じ視点に立って子供たちを支えていくことで、学習習慣の確立が促され、学力向上につながると考えます。子供たちのやる気、自主的な取組を温かく受け止め、ほめたり、認めたり、励ましたりしてあげてください。ご理解とご協力をお願いいたします。



【家庭学習の手引き等】

林間学校 ~自然の中でさまざまな体験ができました~



【キャンプファイヤーの様子】

6月16日（金）・17日（土）、5年生が初めての宿泊学習（1泊2日）である林間学校に行ってきました。1日目は、県立八ヶ岳少年自然の家での入所の集いの後、キャンプサイトで野外炊事を行いました。班ごとにカレーを作り、とてもおいしくできあがりしました。また、冒険ハイクでは、様々なアスレチックを班のメンバーと協力してクリアしながら進んでいきました。夕食後に行ったキャンプファイヤーでは、燃え上がる炎を囲み、仲間とともに様々なスタンプを楽しみ盛り上がりしました。2日目は、絵図ハイクに挑戦しました。絵地図を頼りに、道に迷わないように班の仲間と相談しながら遊歩道の散策を楽しみました。いろんなことに一生懸命取り組む子供たちの姿がとても頼もしかった2日間でした。みんなで力を合わせて大自然の中で様々な体験をし、思い出に残る充実した林間学校になりました。今回の林間学校での成果を高学年としてのこれからに活かして行って欲しいです。

仲よく楽しめた「フェスティバルたまもろ2023」

「みんなで協力 スマイルフェスティバル玉諸」のテーマのもと、6月26日（月）に「フェスティバルたまもろ2023」を開催しました。これは、児童会を中心として、自分たちの力で大きな祭りを計画し実践する過程を通して、児童の自主性・創造性を高め、責任感や協力する態度を養うこと、縦割り活動を通して異学年間の子供同士の友好を深めることを目的に行うものです。また、集団としての共同作業を通して、学校生活



【シューティングゲームのお店】

【つってもんだいをクリアしろ~2023~】に変化を与え、学校生活をより豊かで楽しいものにする場でもあります。当日は、「わくわく広場」と題して、縦割り班ごとに工夫して作った的当て、宝探し、クイズ、障害物走など24のお店をお互いに巡りました。各会場では、子供たちの笑顔でいっぱいになりました。上級生は下級生の面倒をよく見て、下級生は上級生の言うことをよく聞いて、異年齢集団で仲よく、楽しく活動することができました。



玉諸小ブログ2023や
学校だよりのHP版
をご覧ください。



春の校外学習で見学・体験

子供たちが楽しみにしていた春の校外学習。1年生から3年生は、玉諸地区を探検しました。3年生は、地形や土地利用、交通の広がりなどに着目して、調べました。2年生は、建物やお店、働いている人の様子などを調べました。1年生は、玉諸公園で季節の様子を観察し、自然に親しみました。4年生は、平瀬浄水場と県立博物館へ行き、知的な好奇心へと学習の広がりや深まりを実感しました。学校では学ぶことのできない見学や体験にしっかりと取り組むことができました。



玉諸公園での活動(1年生)



DEPOの見学(2年生)



玉諸神社の見学(3年生)



平瀬浄水場の見学(4年生)

